



KAMEDAJIMA

「はにかむエブリデイ」

亀田の郷の縞だより

「はにかむ」=しよしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強くて優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

令和8年

015

亀田縞利用促進協議会

Person

ふるまち芸妓

和香さん



郷土の音色に導かれ、花街の舞台へ
お座敷を穏やかに包む、調和の心

新潟の古町地区を拠点とする伝統、「古町芸妓(ふるまちげいぎ)」。江戸時代、北前船の寄港地として栄えた頃に始まって約200年の歴史があります。洗練された芸でお座敷に華を添える「おもてなしのプロ」。歴史を大切に、内外の客人に新潟の素晴らしさを伝える存在です。

「新潟まつり」では山車の上で華麗に舞い、熱気を最高潮へ導く圧巻の姿を披露。最近では「新潟をどり」「花街茶屋」など芸に触れられる機会も増え、私たちにも身近な文化になりました。

和香(わか)さんの根底には、生まれ育った亀田の豊かな風土があります。祖母が縫ってくれた浴衣を着て、おもちゃの竹笛をずっと吹いていた少女時代。授業で習った樽太鼓に心を寄せ、亀田甚句を踊った楽しかった思い出が、今も色鮮やかに残っているそうです。花や星など自然が好きで、黄金色の稲穂が風で揺れる、秋の夕暮

れ時の亀田の田んぼが「今も私の原風景」とか。『小松湯』さんも子どもの頃よく行った場所。食べることも大好きなので、今度地元に戻ったらお風呂も焼き鳥も両方楽しんでみたい。愛着に満ちた笑顔で語ってくれました。

自身の性格を尋ねると吹奏楽部で担当していた楽器に例えて「サウンドを土台から支えるチューバのように、お座敷でぱっと目を引くよりも後ろから調和を支える役割が私の性分に合っているみたいです」。そんな控えめな姿勢の一方で、日本舞踊や長唄、三味線のすべてを「もっともっと極めたい」とまっすぐに語る熱い一面も。

芸妓とは「仕事というより私の人生の一部、かな」と微笑む姿には、一本の強い芯を感じます。

ふるさと亀田に育まれた素朴な優しさ、芸を磨き続けるひたむきな心。それこそが古町で輝く和香さんを支える原点。



三味線、日本舞踊、鳴物、長唄、茶道と芸事に精進する日々。「お客様に喜んでいただける事、たくさんの方にお会いできて会話を楽しめる毎日に幸せを感じています」。亀田縞のおにぎり巾着と。

撮影中にはそっとこんなポーズをとるお茶目な一面も。和香さんの日常はInstagramから。

Instagram



特集

こんなところに亀田縞

2026

働く姿を粹に、日常を豊かに。「亀田縞」を愛する人々

機屋で生まれた亀田縞は、メーカーや、デザイナーの理念を宿すウエアとなってお店に並び、多くの人の元へ届いています。嬉しい広がり一方で、この布地が持つ本質的なクオリティに惚れ込んで長年愛用している人々がいいます。

なぜ亀田縞を？その使い心地とは。日常の、そして仕事の現場の「部」として、亀田縞を愛する方々の声を集めてみました。

にわ彌

室橋 拓弥さん

長岡市悠久町1-1103-1

WEBサイト



立川
UTOPIA
オリジナル

布地

「丈夫で涼しい。昼休憩の時さっと水洗いして枝に引っかけておくと、午後の作業にはもう乾いているのがすごいと思います」。



傷や継ぎ接ぎは誇り高き勲章 着るほどこに変化を遂げる作業服

首都圏で腕を磨き2020年に起業した庭師の室橋さん。「緑を愛情いっぱい育てる庭づくり」の象徴として、デザイナーの佐藤悠人氏（UTOPIA）とこだわりの作

業着を制作しました。破ければ補修し、植物のように成長を続ける作業服。濃紺から灰色へ移り変わり、重なる継ぎ接ぎ（つぎはぎ）は「職人の勲章」です。身体と自然になじんでいくその姿は、まさに緑に愛情を注ぐ庭師の生き様そのものです。



半纏は本来屋敷の出入りを許された者だけの証。伝統的な意味と職人のプライドを込めたこだわりの仕事着。前立てはボタンが引っ掛からないように、着丈はパンツにインしても様になるように。現場での工夫と洒落心が調和する。

道の駅 新潟ふるさと村

ファイブワンいいね! 新潟館

新潟市西区山田2307

WEBサイト



この季節、パンツスーツでもとても涼しいです。ショップでは布地が人気で時々色柄を替えながら販売しています。

新潟の全部が揃う観光情報発信地のスマートなユニフォーム
新潟の土産、食、観光情報が丸ごと揃う県を代表する観光施設。文化や歴史を伝える「ファイブワンいいね! 新潟館」ではスタッフユニフォームに「亀田縞」を採用しています。案内係は着方をアレンジできるワンピースとセットアップの2種類、ショップ担当はカラフルなエプロンを着用。新潟になじみのある親しみやすい綿布でゲストを迎えます。館内では亀田縞のストールやコースターなど小物も販売していて、その魅力を手軽に持ち帰ることもできます。

はにかむ機屋だより

中営機業(有)

新潟市江南区曙町 1-8-18
TEL.025-381-5163

大正12年創業。縦縞で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

新しい2ndシリーズから選びました。薄地です。縞色の使い方を考えました。夏の着丈の長い洋服にすると縞の入り方が面白いですよ。K2-25 N02-2は明るい暖色で人気です。



中林 恵利子 さん

オススメはコレ!



K2-25 N01-1



K2-25 N01-2



K2-25 N01-3



K2-25 N02-2



お洒落に、着ていて快適な甚平が人気です。ちぢみ素材は猛暑も快適です。子供～大人まで、サイズも色も揃っています。

今月の
テーマ

夏のおすすめ布地

今年も猛暑、酷暑の夏、到来。室温はクールに、そして夏素材の亀田縞で涼しく過ごしましょう。シワ加工のキャッチワッシャーやちぢみ、薄地からご紹介します。

立川織物

新潟市江南区袋津3丁目1-52
TEL.025-381-3067

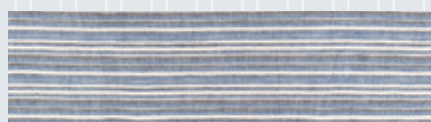
迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横縞で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のある太めの糸で織りあげる。スベック染を行う。

キャッチワッシャーは普通地で糸は太いけどとても軽くて涼しい布地。風が通り抜けるので着心地がよいです。BL-3は夏のパンツなどに、BL-5は一年中、BL-9は秋冬にも。



立川 治秀さん

オススメはコレ!



キャッチワッシャーBL-3



キャッチワッシャーBL-5



キャッチワッシャーBL-9



各地の神社巡りを楽しむ方が増えてご朱印帳の評判が上々です。自由な使い方ができる旅の手帳としてもいかがでしょう。

ローカルガストロノミーとは料理で地域の食文化や環境を守り、地域を元気にする思想。ユニフォームは宿のテーマに合わせて2色を選び、動きやすさを追求してオーダーした。



老舗の営みを優しく包む
日々を支える綿布のエプロン

創業150年以上、新潟の美味が集まる老舗。活気あふれる店内でスタッフが身に纏うのは「亀田縞」のエプロンです。8年前のカフェ併設を機に、女将の篠原麻恵さんの発案で揃えしました。お店や港町の風情に調和して、ときどき新調しながら色柄を楽しんでいます。接客からカフェでの調理、枝豆を茹でたり発送作業まで。多岐にわたる日々の仕事を丈夫な生地が支えます。お店の歴史に溶け込んで毎日の仕事着として愛されています。

(左) 佐渡産サクラマスの漬魚や切り落としが人気。茹で上がった枝豆の香りに誘われて訪れる人々も。カフェでは「焼漬けの炊き込みご飯定食」が好評。
(右) 水仕事に強い亀田縞のエプロン。



篠原商店

新潟市中央区東堀通5-424-1

WEBサイト

エプロン: 中営16-2、中営26-1、中営25-2
コースター: 中営9-1

布地

「亀田縞を着ているお客様と出会うとついつい会話が弾みます。」



「雪深いこの地ですが、冬もこのウエア一枚で過ごしています。お客様のお見送りやお出迎え、ちよつとした外の作業でも快適に活動しています。」

里山十帖

南魚沼市大沢1209-6

WEBサイト

宿の流儀に溶け込む綿布 纏う姿に宿のおもてなし

南魚沼の自然と古民家が調和する隠れ家宿「里山十帖」。世界的なミシランガイドで星(キー)を獲得した、最高峰の実績を誇る、ローカルガストロノミー発祥の宿でもあるこのスタッフウエアに、亀田縞が採用されています。大自然にさりげなくなじむ天然綿布は、まるで黒子のように温かいもてなしに寄り添い、まさに使うべき場所と息づいているよう。宿を訪れた際は、地域の食文化を守るその熱い想いととも、心地よい空気感をぜひ感じてください。



ショップでは亀田縞の布地が人気。季節で色柄を替えているのでお気に入りを探して。

NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中！
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

亀田産和綿の収穫を願って すくすく育て、コットンボール

亀田縞応援隊の青山さんの綿畑は水路問題で惜しまれつつ畑じまいとなり、亀田中学校の畑も猛暑や土壌の影響で試行錯誤が続くが、町の小さな畑は今年も綿を栽培中。亀田バイパス袋津交差点沿いに立つ看板が目印。温かく成長を応援してください。



亀田縞を纏ったモデルが登場、 トークも盛り上がった話題イベント

6月14日(日)「TGC NIIGATA 2026 PRE EVENT supported by 第四北越銀行」が開催された。亀田縞を纏ったモデルが登場し、トークセッションでは亀田縞を着用した新潟市の佐久間副市長らが地元織物をPRした。

亀田縞をアピールする佐久間副市長(左)



©TGC NIIGATA 2026 PRE EVENT supported by 第四北越銀行

台湾で地元の魅力をアピール 新潟フェスに亀田縞が出演

台湾の大型商業施設「桃園格蘭モール」にて、新潟の良品を集めた長期ポップアップストアが開催された。会場では「カメラダブラス」がブースを構え、亀田縞製品を多数ラインナップ。現地の方々へ向けて、職人の技が詰まった織物の魅力を熱心に伝え、新潟が誇るものづくりの実力を世界へ発信した。



世界から8000人が集結！ ASPAC新潟大会が開催

6月11日～15日、世界中の青年会議所メンバー約8,000人が朱鷺メッセに集結。国際交流を行い新潟の魅力を発信する「ASPAC新潟EXPO」には100ブースが出展。亀田縞ブースでは扇子が好評、同時開催のイベントでも亀田縞の基平に注目が集まるなど、地元の伝統織物が世界の人々を魅了した。



朱鷺メッセのASPAC会場(上・左下)とふるまちスパーク会場(下右)

ホットに
ズームアップ

【新サービス】

出き上がりを待つて楽しいセミナー
公式ストアだけのサービスを開始

亀田縞公式ストアは、亀田縞を取り扱う各ショップおすすめの製品を一堂に見て購入できるECサイトです。特に、丁寧なつくりの雑貨や、特別感のある一点ものを揃え、高額商品なども自宅でゆっくり考えてから購入できるため、どの商品もまんべんなく売れているのが特徴です。

その公式ストアにオーダーサービスがスタートしました。

立川織物の「縞羽織」シリーズは、さまざまな布地を接ぎ合せた男女兼用の個性的なコート。

また亀田繊維工業協同組合からは、see sew 5の「エプロン」「ロングスカート」。こちらは亀田縞公式サイトから好きな布を選んで作れます。

どちらもできあがりまで2カ月ほどお待ちいただきますが、世界で一枚のおしゃれを楽しめます。公式ショップだからその取り組み、気長に待つ時間も楽しい方にはおすすめのサービスです。今後も拡充していくので乞うご期待。

亀田繊維工業協同組合 「SESEWエプロン」「SESEWスカート」

購入時に亀田縞公式サイトから好きな布地を選んで記入すること。お気に入りの布で仕立てます。



SESEWエプロン

左右を紐でしばるタイプのエプロン。メインの布地を決めてください。バイカラー部分は無地を合わせます。にぎやかな縞を選んでも楽しいですよ。



商品ページ



SESEWスカート

シンプルなロング丈のギャザースカート。定番デザインなのでイメージしやすく、どの縞を選んでも安心できます。



商品ページ

ご注意！

- 出来上がりまで2カ月ほどいただきます。ご了承ください。
- 一枚ずつ製作するため、出来上がってから「イメージと違う」といったキャンセルはお受けできません。気になる点のご質問や希望の記載は必ず事前をお願いします。

立川織物 「縞羽織」

ベースカラーを選ぶと縫製職人がセンスよくパッチワークして仕上げます。パッチワークの位置や配置は基本おまかせですが希望があれば事前に「通信欄」からお伝えください。



縞羽織 (フードなし)

商品ページ



縞羽織 (フードあり)

商品ページ



※パッチワークの配置、大きさ、色柄、入り方は全部違うので、商品ページの写真を参考に「派手めに」「シンプルに」「パッチワークを少なく」など希望があれば記入を。出来上がり予定日の確認後製作スタート。

問合せ先

■亀田縞公式ECショップ

<https://kamedajima.stores.jp/>



公式サイト／公式ECサイトから
メールでお問い合わせを

お気に入りの亀田縞 特別編

亀田縞の公式サイトではみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしております！

■投稿はこちら

<https://kamedajima.net/showcase>

新潟市副市長と江南区長が 亀田縞の浴衣で和やかに

この夏、新潟市副市長と江南区長のお二人が亀田縞で浴衣を作られたと耳にして取材してきました。どちらも2ndシリーズから柄をチョイス（左雪2、右縞2）。「しっかりした布地なのに涼しい」「着心地のよさにもビックリ」と笑顔に。明るく爽やかな雰囲気、帯の合わせ方でも個性を発揮、着こなしを楽しんでおられました。

▶佐久間なおみ新潟市副市長（左）は長身を生かしてシャープに、加藤陽子江南区長（右）はかわいらしい雰囲気に。とてもお似合いです。



はにかむ for the future 活動日記

袋津まつりを彩った地域のランドマーク 旧袋津郵便局が50年ぶりに一般公開

袋津まつりの日に、築90年の歴史的建造物「旧袋津郵便局」が特別に開放された。50年ぶりに開く扉。館内には貴重な切手や什器、袋津の歴史や亀田縞が展示され訪れた人々を魅了。懐かしい佇まいは若い世代にも新鮮な体験だった。夜はライトアップされ、昼夜を通して多くの見物客が立ち寄り祭りを盛り上げていた。



昔の切手や什器が並び昭和レトロな雰囲気を楽しめる貴重な館内。



KAMEDAJIMA

江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶えましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供：亀田郷土地改良区／撮影 本間喜八氏

はにかむ 編集後記

サッカーW杯が開催されましたね！サッカー観戦好きな私は頑張って早起きをし、世界各国の熱戦を楽しみました。日本は惜しくもベスト16進出とはなりませんでしたが強豪国を相手に闘う選手たちに何度も胸が熱くなりました。「いつか日本が世界一に！」という夢を抱かせてくれる大会でした。そんな中、亀田縞も国内外で知っていただく機会が少しずつ増えていきます。江南区が誇る亀田縞が、新潟を、さらに日本を代表する織物へと広がっていったら嬉しいです。暑い日が続きますが、水分補給を忘れずに楽しい夏をお過ごしください！（スタッフM）

亀田の郷の縞だより はにかむエブリデイ015

- 発行：亀田縞利用促進協議会／亀田繊維工業協同組合
〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>
- 発行日：2026年7月31日 ■企画編集：パクチープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

▶SNSフォローをお願いします！亀田縞のイベントや新商品情報、本紙の取材秘話など発信中。

